

目次

- 1 サーキュラーエコノミーを行う意義
- 2 取り組みについて
- 3 製品紹介
- 4 差別化

原材料

リサイクル

製品

製品

再設計

利用

廃棄物



サーキュラーエコノミーの意義

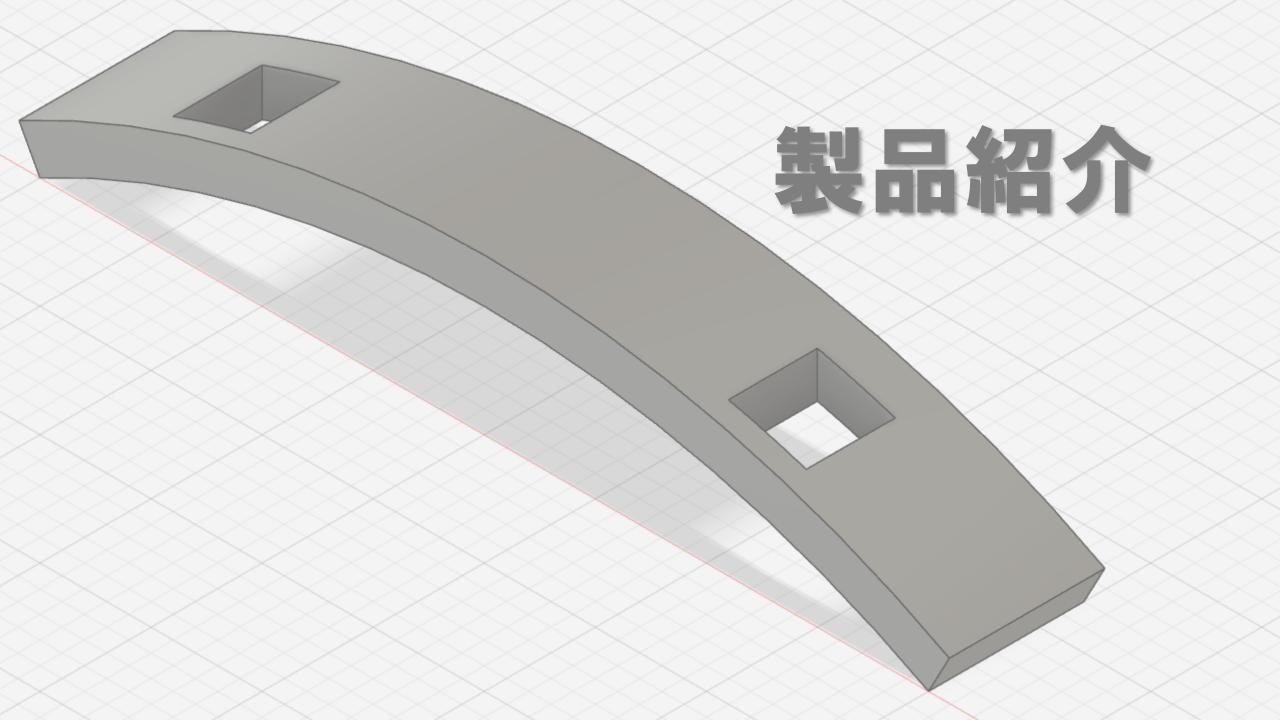
プラスチックを含めゴミの排出量を削減し、長期的に使用できる、あるいは再利用の取り組み

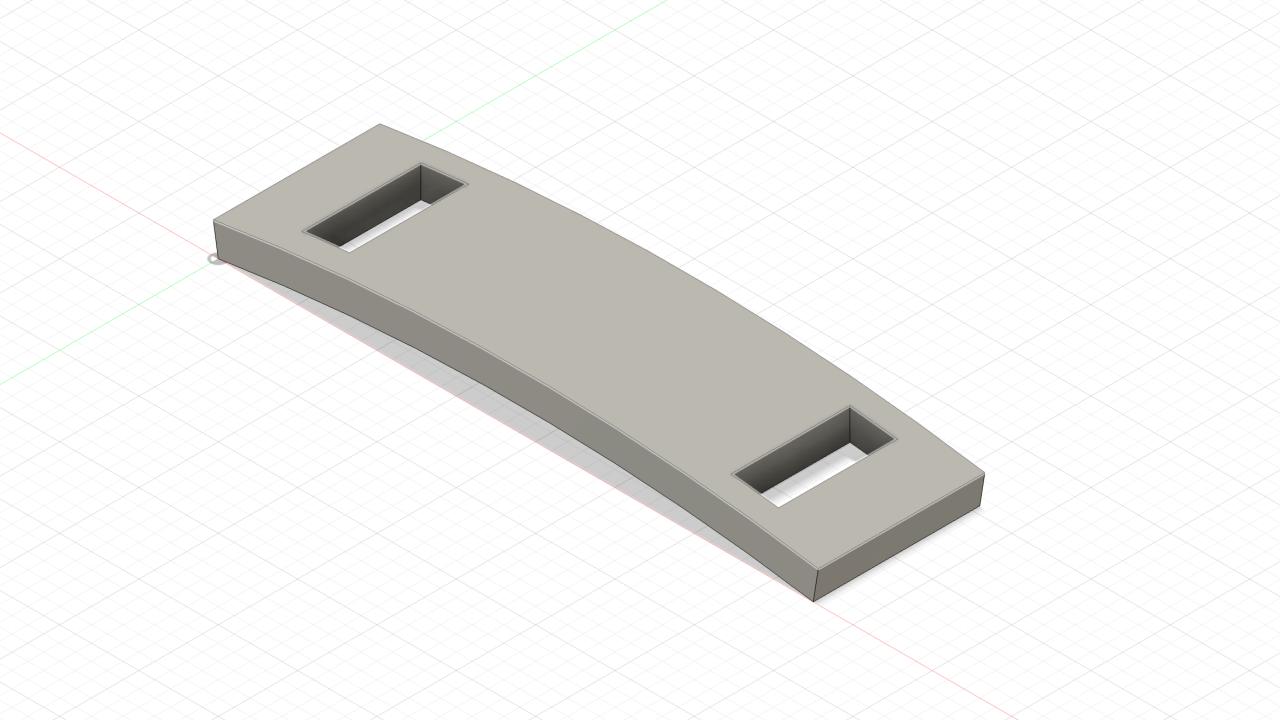
ゴミの排気量を削減できることでCO2削減も可能となり、環境保護や脱炭素化に貢献

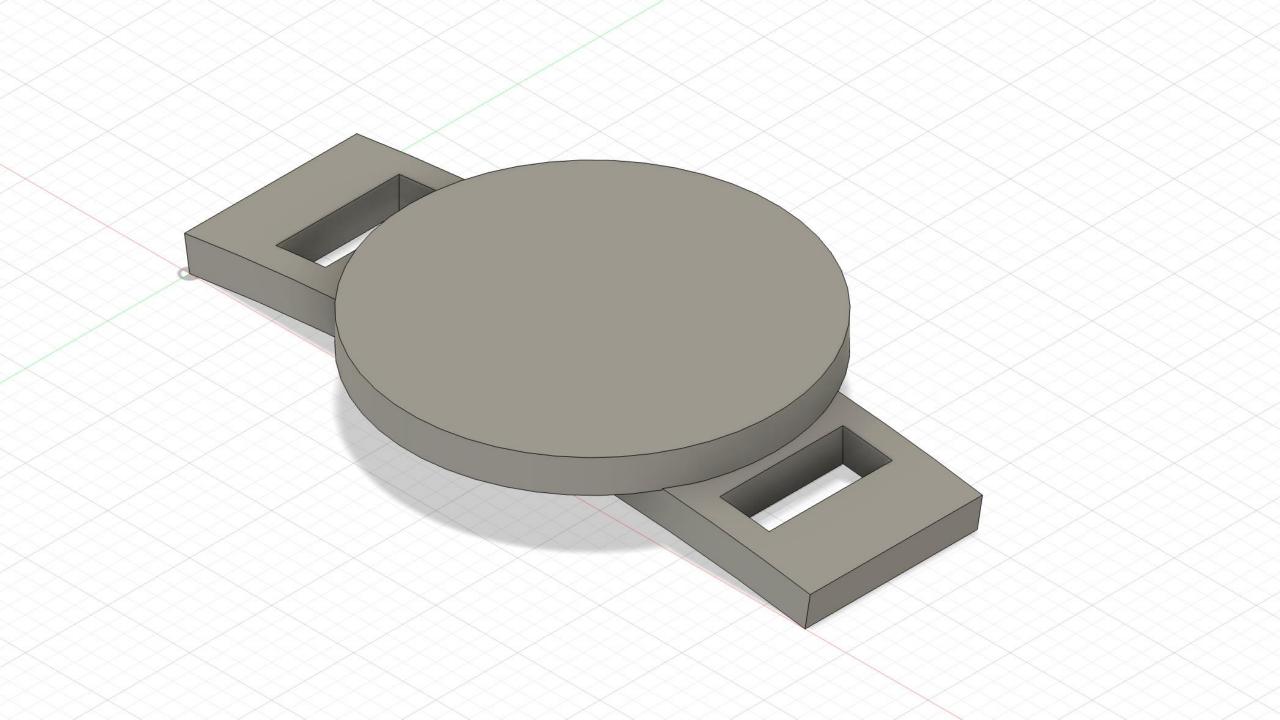
今回の取り組み

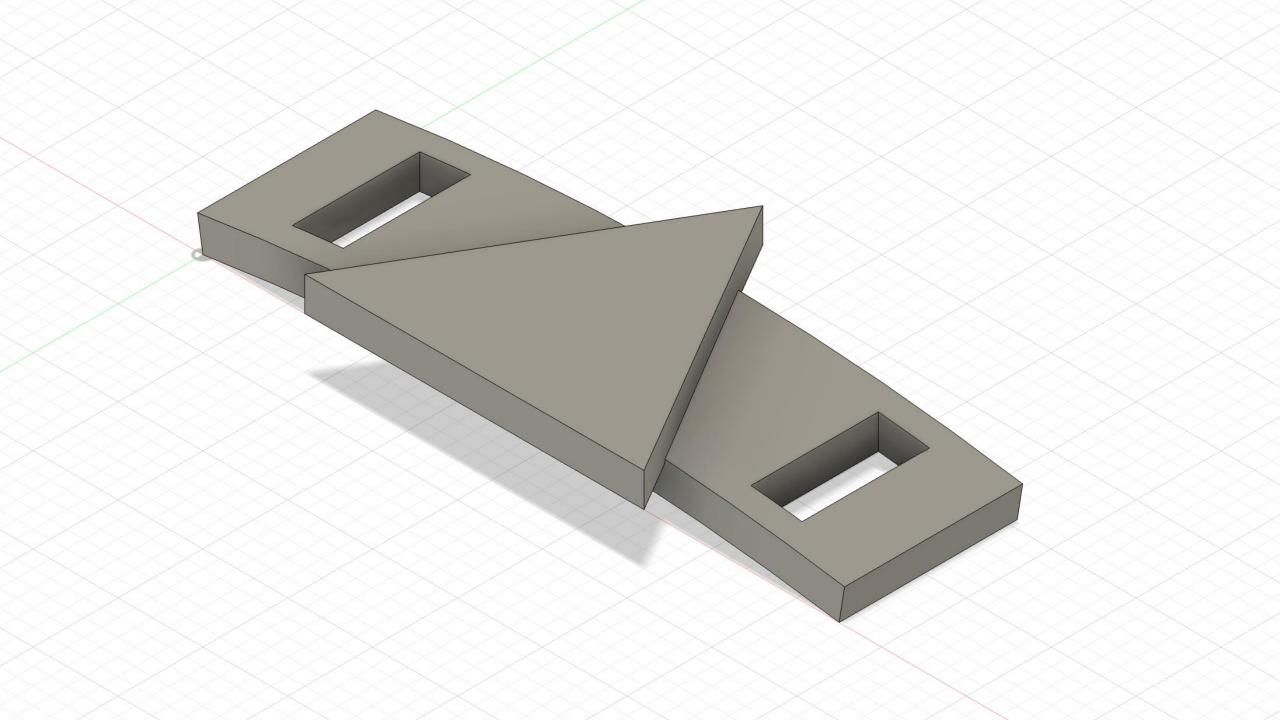
学内で循環することが出来る製品を作成しよう!

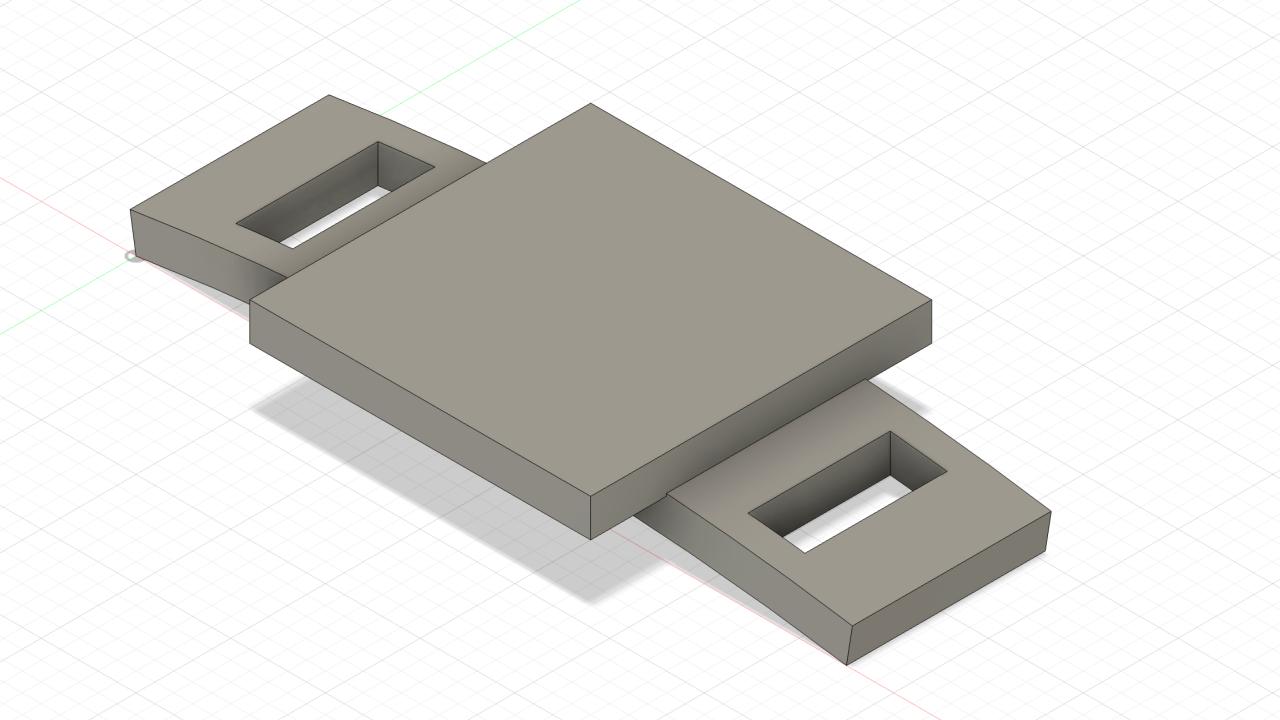
普段使いできるものや学校であったらうれしいものを中心に 環境に配慮していることが伝わる製品

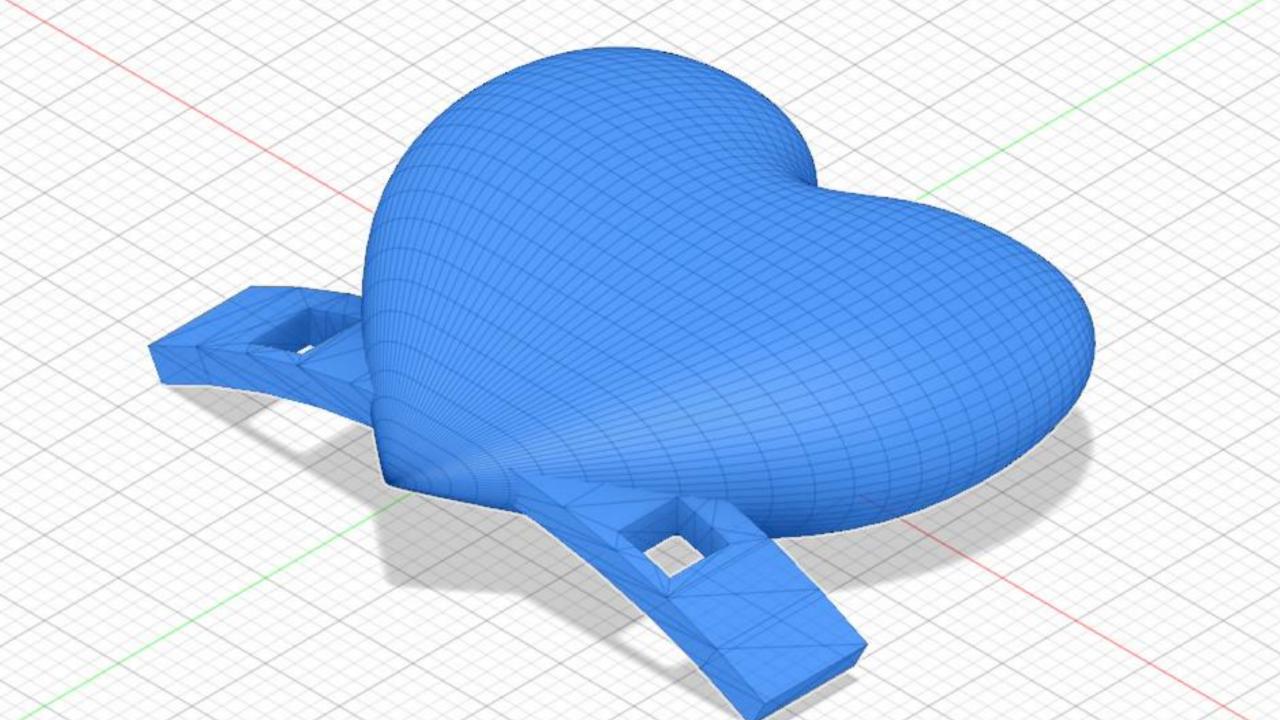












差別化

◆プラスチックを用いている点

プラスチックの再利用から生み出すことが出来る

人と被ることがない

ご清聴ありがとうございました